第2回岡山市場再整備検討委員会

再整備後の導入機能（案）

資料３

再整備による機能強化のポイント

①温度管理機能の強化

- 近年の夏場の高温にも対応した品質保持のために、**市場全体のコールドチェーンを確保**し、商品ごとに必要な温度帯を設定する。
- **卸売場・仲卸売場全体を閉鎖化・定温化**し、商品の品質管理を行うとともに、従業員の作業環境を向上させる。 ※ただし、閉鎖化・定温化の範囲は、費用を踏まえて引き続き検討

②屋根付き荷捌き場の拡充

- 商品が雨に濡れる／日に当たることによる品質劣化を避け、**“全天候型”で効率的な作業が可能**になるよう、**荷下ろし場や積込所を中心に屋根付きのスペースを拡充**する。

③流通構造やニーズの変化に対応した機能の拡充 ※事業戦略と合わせて必要な施設・機能を継続的に検討

- 加工機能や配送センター（保管・仕分け・配送）機能の強化、学校給食向けの荷捌き場の拡充など、流通構造の変化や卸売市場に求められる役割に対応した機能を充実させる。

④産地や出荷団体、運送会社からも選ばれるための施設・機能の新規整備 ※事業戦略と合わせて必要な施設・機能を継続的に検討

- 荷物を積み替えるための中継拠点や大型トラックの待機スペース、ドライバーの休憩スペースの整備など、交通結節点としての岡山市場の強みを活かし、出荷先として選ばれるための施設・機能を充実させる。

⑤施設集約や施設配置の適正化による効率的な作業環境の確保

- 分散している卸売場や仲卸売場・倉庫・冷蔵庫・加工場等を適宜集約するなど、適切な施設配置を実現し、効率的で働きやすい作業環境を実現する。

⑥共同施設・共同事業の積極的な導入による施設利用・業務の効率化 ※実現可能性について継続的に検討

- 冷蔵庫・倉庫・加工場等の施設について、組合等による管理・運営をはじめとした共同利用の仕組みを積極的に導入する。
- 将来的な共同配送や共同加工等に対応できるよう、柔軟性・可変性の高い施設づくりを行う。

⑦自動化・デジタル化による付加価値向上・業務効率化 ※具体策について継続的に検討

- 業務時間の短縮やスペースの有効活用（≒“スマート化”）や販売力の強化等に向けて、市場全体・部門全体で自動化・デジタル化の可能性を検討する。

⑧「若い世代が働きたくなる」市場づくり ※具体策について継続的に検討

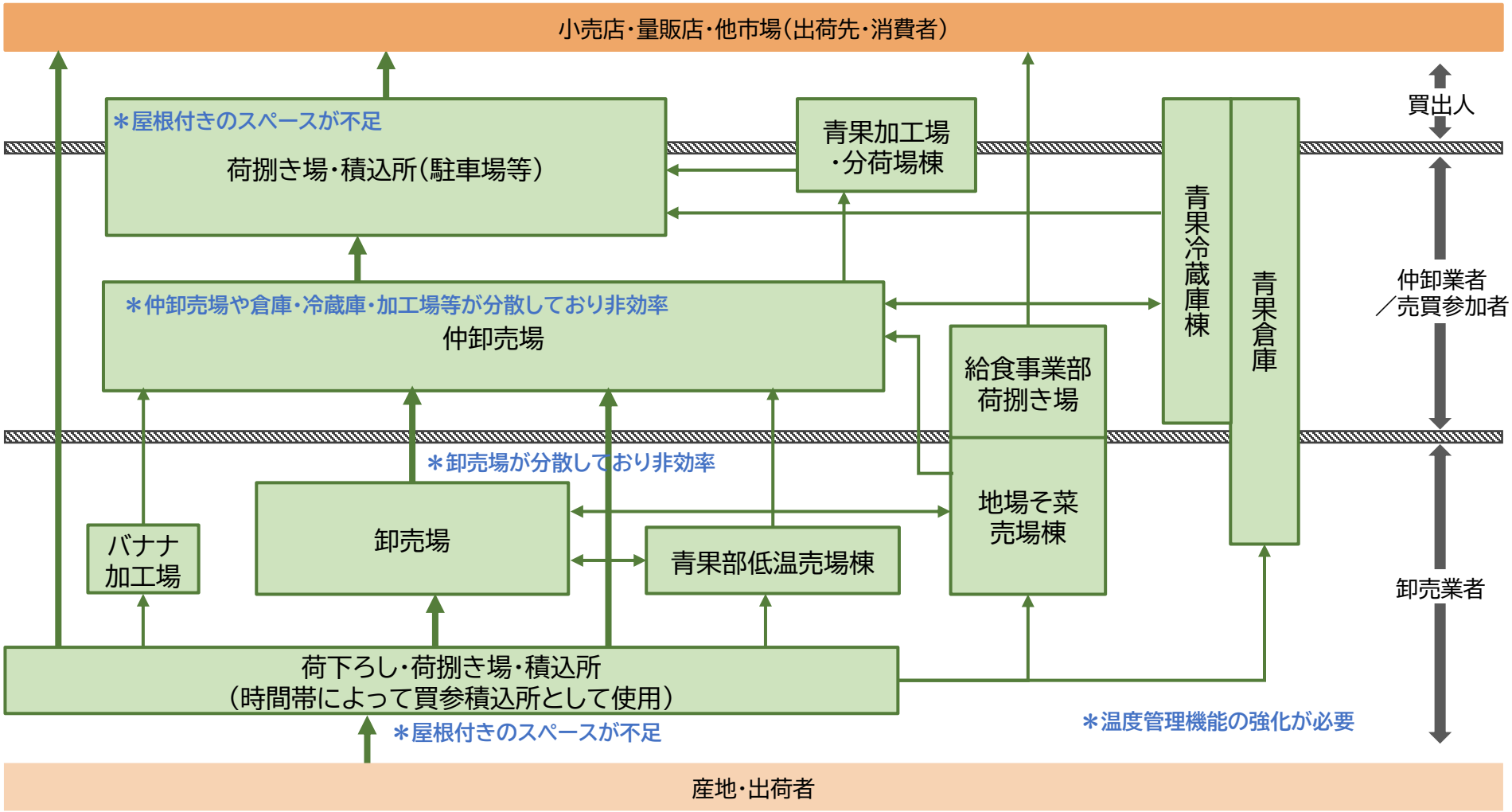
- 人材確保に向けて、卸売市場全体で「若い世代が働きたくなる」環境づくりを進める必要があり、そのために必要な施設・設備や仕組みづくり、業務・働き方の見直し等について検討する。

再整備後の導入機能（案）

機能構成イメージ｜青果

現状　物流動線（場内）　場内施設

青字…現状の課題



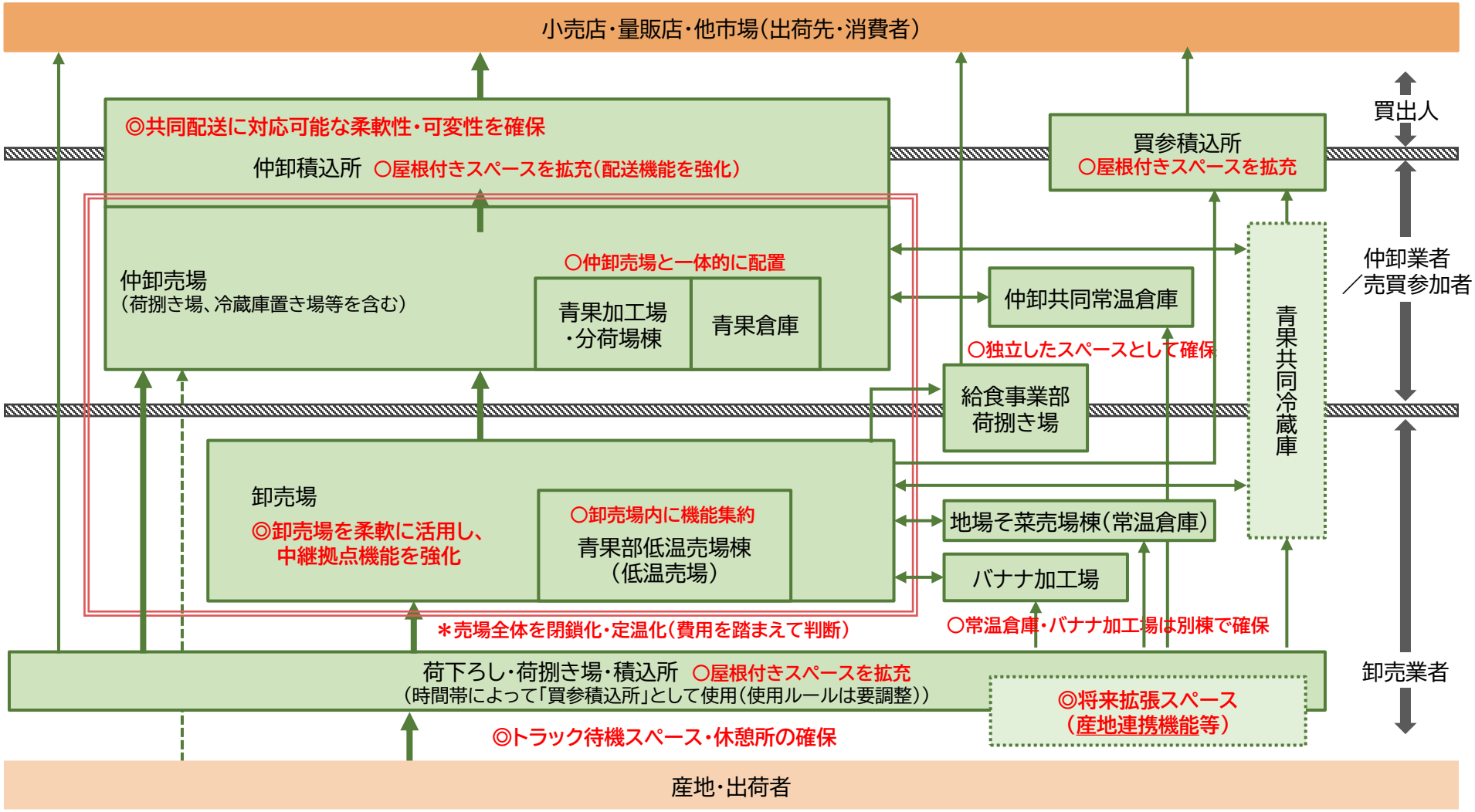
再整備後の導入機能（案）

機能構成イメージ｜青果

再整備後のイメージ　物流動線（場内）　場内施設

赤字…機能強化（◎新規導入／○拡充・更新）のポイント

【共通】
◎自動化・デジタル化による業務効率化
○「若い世代が働きたくなる」市場づくり

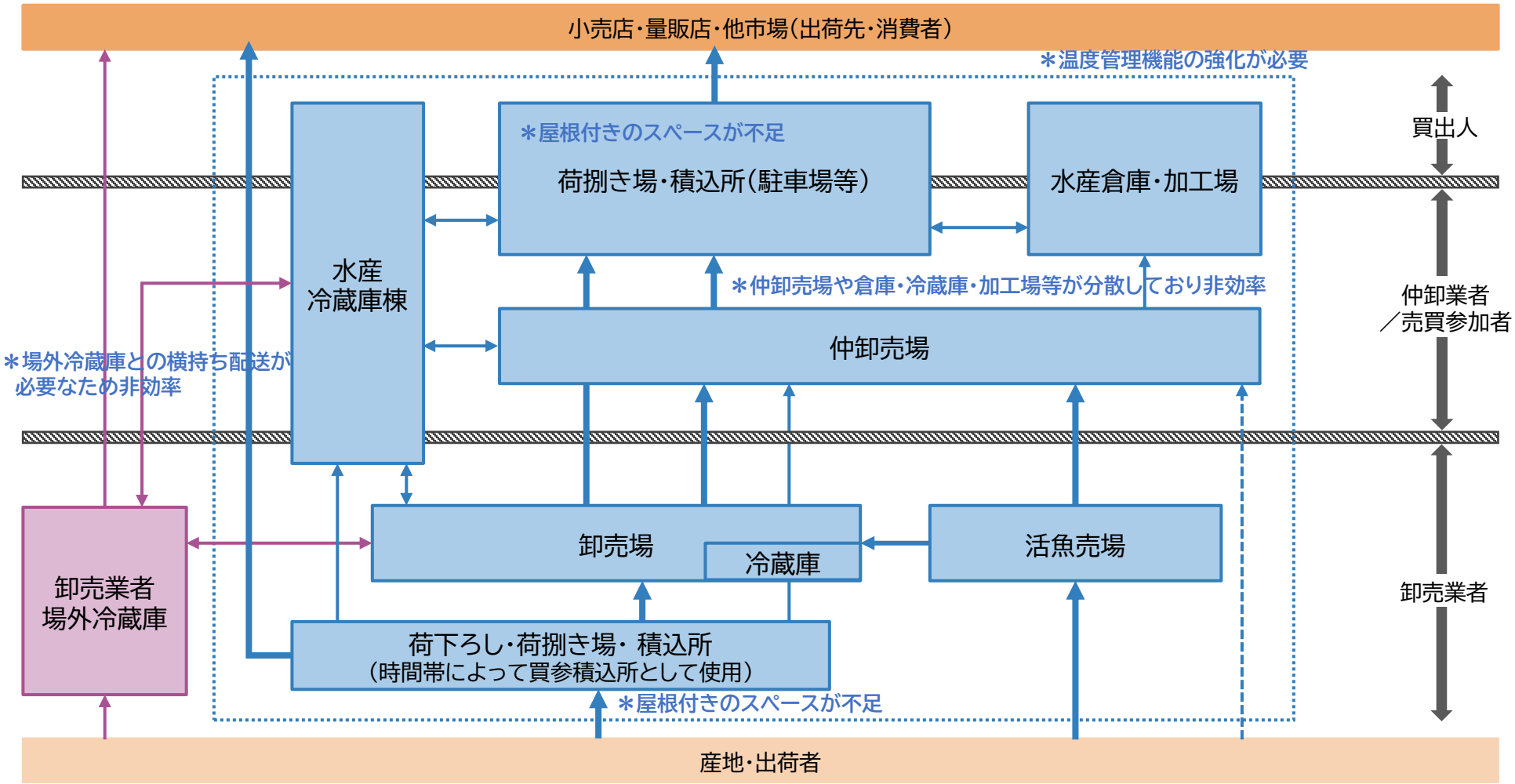


再整備後の導入機能（案）

機能構成イメージ｜水産

現状　物流動線（場内）　物流動線（場外）　市場区域　場内施設　場外施設

青字…現状の課題



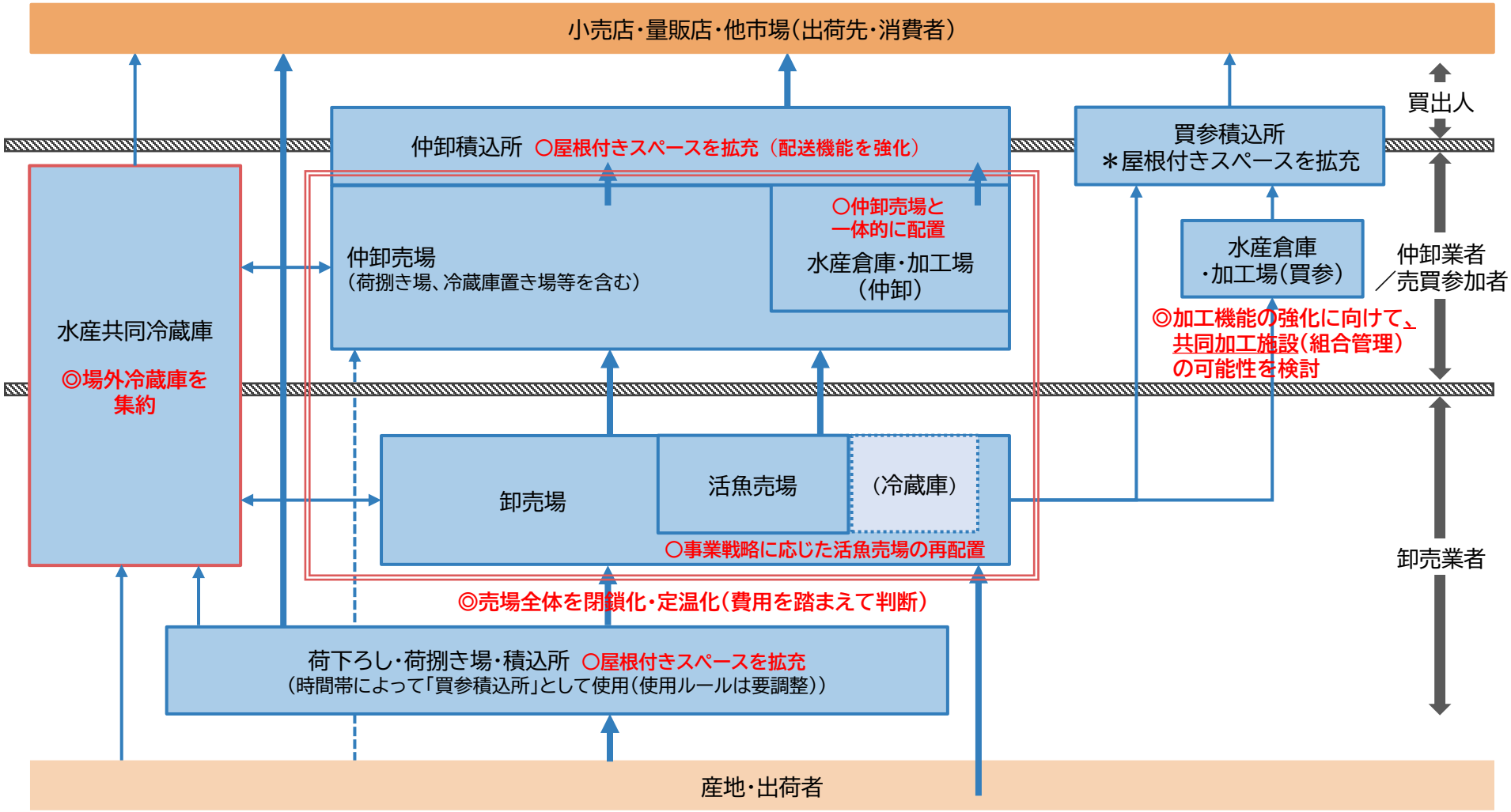
再整備後の導入機能（案）

機能構成イメージ｜水産

再整備後のイメージ　物流動線（場内）　場内施設

赤字…機能強化（◎新規導入／○拡充・更新）のポイント

【共通】
◎自動化・デジタル化による業務効率化
○「若い世代が働きたくなる」市場づくり

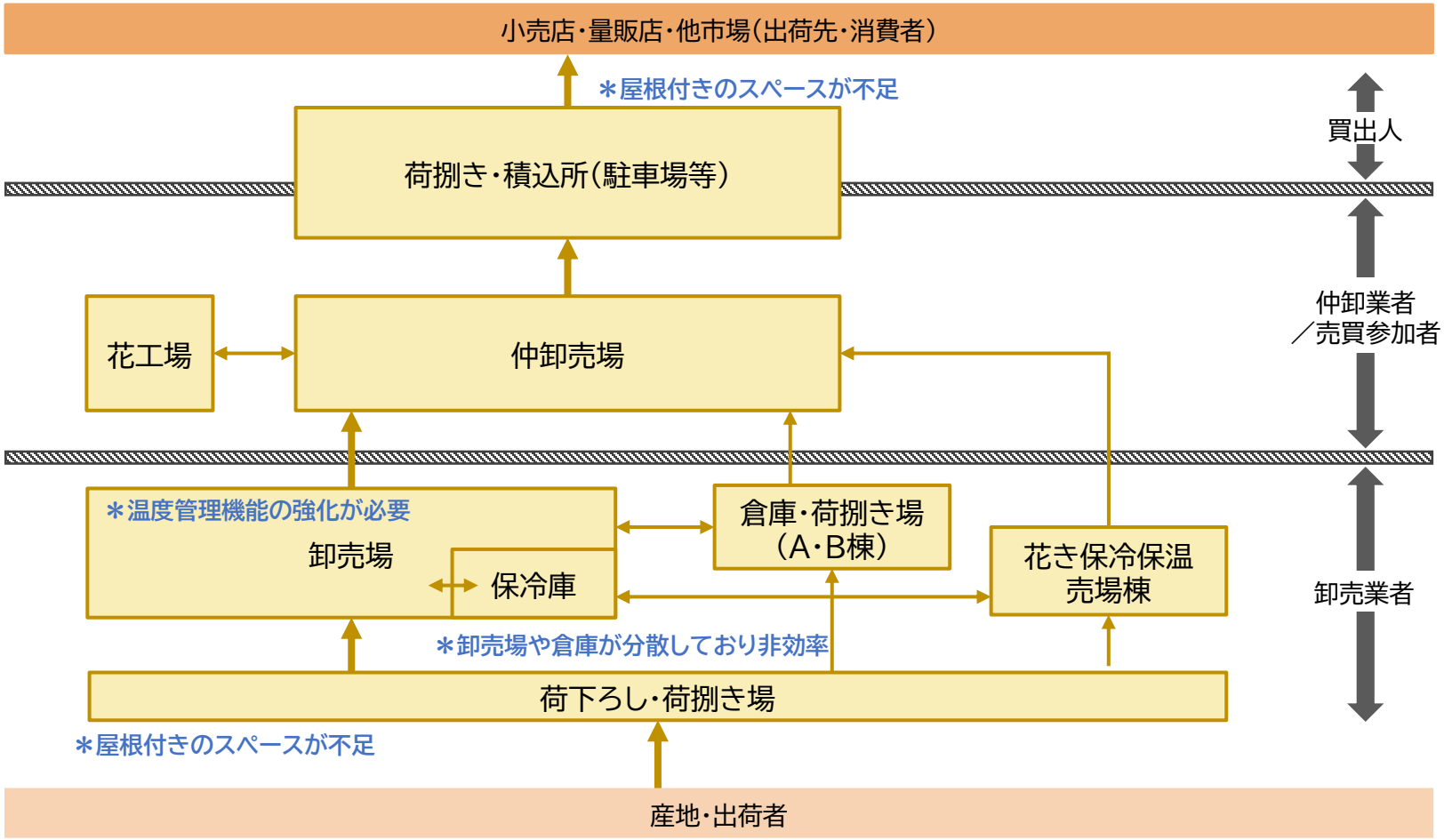


再整備後の導入機能(案)

機能構成イメージ｜花き

現状　物流動線(場内)　場内施設

青字…現状の課題



再整備後の導入機能（案）

機能構成イメージ｜花き

再整備後のイメージ　物流動線（場内）　場内施設

赤字…機能強化（◎新規導入／○拡充・更新）のポイント

【共通】
◎自動化・デジタル化による業務効率化
○「若い世代が働きたくなる」市場づくり

